

女子大学院生・ポスドクと産総研女性研究者との懇談会開催報告

竹内美緒（産総研 地質調査総合センター研究戦略部），産総研 ダイバーシティー推進室

2016年11月21日(月)，産総研ダイバーシティー推進室の主催で「女子大学院生・ポスドクと産総研女性研究者との懇談会」が，下記のプログラムで開催されました。

09:15～09:55 サイエンス・スクエア見学

10:00～11:15 サイエンストーク 「地層から過去の巨大地震を復元する」

11:30～12:00 地質標本館見学

13:30～14:20 産総研紹介

14:20～14:30 移動・領域等ポスター紹介

14:30～15:45 少人数に分かれての在職女性研究者との懇談会

15:45～17:00 ラボ見学

今回は，サイエンストーク，地質標本館見学など地質調査総合センター(GSJ)に関連するイベントも含まれておりましたので，ここでは主にGSJからの開催報告をさせていただきます。

午前中は希望者対象のプレイベントで，広報サービス室主催のサイエンス・スクエア見学とサイエンストーク，そして地質標本館の見学が行われました。サイエンストークは，活断層・火山研究部門海溝型地震履歴研究グループの澤井祐紀氏による地震研究における津波堆積物調査の話題でしたが，津波堆積物のはぎとり標本の解説はもちろん，同氏が現在の研究をはじめたきっかけや，研究成果の社会還元の難しさなどにも話がおよび，参加者(16名)の

興味を引きつけました(写真1)。その後の地質標本館見学には18名が，館内展示施設の見学(写真2)と，薄片試料の作成を行っている地質試料調整グループの見学(写真3)に分かれて参加しました。普段なかなか見ることができない薄片試料作成の話には多くの参加者が興味深く聞き入っていました。また，実際に試料を観察したり触ったりしてもらいました。



写真2 地質標本館の見学。



写真1 澤井氏によるサイエンストーク。



写真3 地質試料調整グループでの薄片試料観察。



午後に開催された懇談会の参加者は全体で65名でした。まず第1部では産総研初の女性理事であり、GSJのOGでもある、富樫茂子理事による挨拶がありました(写真4)。産総研では現在の研究職の女性比率が10%であり、第三期(2010-2014年)の研究職新規採用者の女性比率が16.7%だったのを、第四期(2015-2019年)では18%以上を目指していると説明がありました。その後、人事室、イノベーションスクール、産学官・国際連携推進部連携企画室、ダイバーシティ推進室から産総研の様々な制度について紹介がありました。第2部では領域毎に分かれて懇談会が行われました。GSJからは、活断層・火山研究部門活断層評価研究グループの宮下由香里グループ長が、プライベートな事から研究内容、研究者としての歩みまで、参



写真4 富樫理事による挨拶。

加された学生のみなさんの様々な質問にお答えしました(写真5)。学生のみなさんも、明確な研究興味がある方から、いろいろやってみたい方、まずはポスドクで来たい、という方など様々でしたが、それぞれに有益な情報を得ていただけたと思います。

最後第3部に行われたラボツアーでは、地質情報研究部門地球化学研究グループの久保田蘭氏、地質情報研究部門平野地質研究グループの小松原純子氏、地圏資源環境研究部門鉱物資源研究グループの星野美保子氏の3名の女性研究者が、研究内容や施設の紹介をしました。今回の参加者の中からGSJに入所してくれる方が出るのを期待するとともに、また次の機会にはより多くのリケジョの皆さんに参加していただきたいと思います。



写真5 懇談会風景。